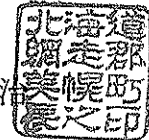


美都発 10 号
平成19年5月2日

国土交通省道路局長 様

美幌町長
土谷 耕



「中期的な計画の作成にあたっての意見」の提出について

平成19年4月2日付け国道企第114号により依頼のありました標記の件について、別紙のとおり提出いたしますのでよろしく取りはからい願います。

《 中期的な計画の作成にあたっての意見 》

美幌町は景勝・美幌峠や清流・美幌川など恵まれた自然環境をはじめ、国道4路線、道道6路線、女満別空港への美幌バイパスなど交通の要衝という立地条件にあります。JR美幌駅はあるものの物流のほとんどはトラック輸送に依存しています。

しかし、網走管内は隘路となる峠に囲まれた地域であり、急勾配・急カーブの区間も多く、追い越し禁止などの交通規制が連続する国道・道道も多く存在しており、安全運転を心がけるドライバーの心理的負担も見逃せません。

本町は農業を基幹産業とするため、農繁期には運搬用の大型車通行が増大するほか、世界自然遺産に指定された知床に向かう観光バスの増加、美幌自衛隊の演習による車輛の移動など大型車の交通量が多く渋滞を引き起こしやすい地域となっています。

冬期には厳しい自然環境のもとで、流氷により海からの物流が阻害され、陸路では峠での通行止めなどの交通規制が多く発生します。

このため、既存の国道・道道などの改良整備はもちろん、地域の産業の発展に寄与する高規格幹線道路や地域高規格道路の早期整備促進が必要となっています。

<生活>

*本町も高齢化率が高く、高齢化に対応した安全で効率的な道路網の構築が望まれています。

*また町内の、主要施設をつなぐ点字ブロックの整備等、誰にでも優しい道路環境の整備が必要になってきています。

*本町は平成19年2月に「美幌町地域新エネルギービジョン」を策定し、二酸化炭素の排出量の削減を目指しています。この目標達成のためにも、燃費改善に直結する道路整備が必要となります。

*大型店が郊外に進出し、北見・網走の大型店への買い物客の安全確保のための道路整備と併せて、中心市街地の活性化を図るため、イベントの開催可能な多目的な要素を持った幅広歩道やポケットパークの整備も必要です。

*冬季には吹雪による通行止めで民家が孤立し、自衛隊の雪上車を要請する事態もあったため、早期の除雪体制の強化が望まれます。

*札幌市と北見・網走を結ぶ都市間高速バスは本町にも停車し、JRと同様町外への貴重な交通手段となっています。この路線のより安全・高速化が求められています。

<医療>

- *美幌町立国民健康保険病院は、緊急告示病院として位置付けられ大空町・津別町などの周辺町村の第2次救急医療機関となっています。このため救急医療体制の確立のため本町はもとより周辺町村の消防署との連携を図り広域的な救急医療搬送体制を確立しています。
- *また、総合病院北見赤十字及び厚生連総合網走厚生病院は本圏域の医療体制の完結を目指す中核的病院となっており、特殊な疾患や高度・専門医療において重要な役割を担っています。
- *一方、道立北見病院は心疾患及び呼吸器疾患の診断・治療を担っていることから、北見市及び網走市との救急搬送・医療機関の連携強化が重要な要素となっています。
- *本町の町立病院からの医師の引き上げ等により、整形外科や産婦人科が休診となっていることから、北見市及び網走市への転院搬送などもあるため、緊急医療体制の確立のための道路環境のより一層の整備が求められています。

<産業>

- *本町は農業を基盤とする町であり、農畜産物・農業関係資材（種子、肥料、飼料等）の輸送はトラックによる陸路輸送が主となっています。
- *野菜類は特に「新鮮さ」が重要であり、道路整備により消費地までの輸送時間が短縮され、また、傷が減少し商品化率が向上することが可能になります。
- *本町には農産物加工場があり、町内はもとより近隣（北見市、網走市、大空町、津別町、訓子府町、置戸町等）から原料農産物がトラックで搬入されます。特に秋の収穫時にはトラックの台数も急増し、道路網の整備は農業者のコスト削減のためにも必要です。
- *本庁から本州へ出荷する農産物（食用ばれいしょ、玉ねぎ、人参等）のほとんどは釧路港から船で輸送されるため、釧路市までの高速道路網の早期整備が必要とされています。
- *道路整備により、車輛の通行に伴う砂塵等の飛散が防止され、葉物作物の品質低下防止が図られます。
- *道路整備に併せた雨水処理施設設置等により農用地の保全が図られます。
- *道路網の整備により農山村の生活環境が改善され離農が抑制されます。
- *酪農家が生産している生乳及び家畜市場（牛）が佐呂間町にあり、新鮮さの確保や動物のストレスの減少のために道路整備は必要です。

- *本町は62%が山林で占められ、林業も重要な産業となっています。FSC森林認証取得などによる地域材のブランド化を目指し、付加価値を上げる努力を続けています。
- *本町の木材は、町内はもとより、苫小牧港、釧路港から本州へ出荷されるほか、北見市留辺蘂町の集成材工場や、津別町の合板・単板工場へトラック運搬されているため、大型車が安全に通行できる道路整備が必要です。
- *釧路港が不凍港であるため、本町の石油製品、飼料の搬送シェアは釧路市からが多く、逆に製糖・製粉が釧路市に送られています。しかし、冬期の交通事情に不安があるため、峠を中心に降雪対策が必要です。

<観光>

- *本町は網走国定公園、阿寒国立公園、知床国立公園などの玄関口として重要な位置にありますが、各地への案内情報が不十分という指摘があります。今後は外国からの観光客の増加も期待できるため、ハード・ソフト両面での道路整備が必要です。
- *流氷観光等冬期観光の発展を考えた場合、峠などの通行止めの解消や除雪による道路幅の確保は移動時の安全や時間短縮には欠かせません。道路情報と併せた管理体制の強化が望まれます。
- *美幌峠は急勾配・急カーブが連続するため、物流はトンネル、観光は従来の道路等の住み分けが必要と思われます。
- *シーニックバイウェイに指定された東オホーツクルートは、地域への愛着、旅の快適性の向上、ストレスのないツーリング環境の形成、地域ブランドの形成等地域の活性化の一助となっているため、引き続き関係路線の整備が必要です。
- *バス観光、マイカーやレンタカーの利用を考えたとき、広大な北海道の観光地を網羅する高速道路網の整備が地域の発展に大きく貢献することになると考えられます。

<安全>

- *本町は「第8次美幌町交通安全計画」を策定し、平成22年までの5年間で行うべき交通安全に関する施策の大綱を定めました。この計画では交通事故死者数を年間1人以下とすることを目標として各種対策を検討しています。

- *これまでの事故は降雪期と行楽期に多い傾向にあり、観光客が道に迷い本町市街地で事故を起こす例もあったため、それぞれの時期に合った案内表示・情報提供などが望まれます。
- *信号機の新設・高度化の推進、標識の高輝度化、歩道等の整備、交差点改良、道路照明等の設置等ハード面のより一層の整備が事故防止につながります。
- *管内は市町村間距離が長く行政面積も広く、鉄道輸送等公共交通手段が少ないことから、冬季でも自家用車を利用した道路交通に大きく依存しています。冬期の吹雪などによる吹きだまり、雪崩の危険箇所が多くあり安全通行の支障になっているため早急な対策が必要です。
- *高規格幹線道路の死者率は一般道路の5分の1程度とされています。このような安全性の高い高規格道路網の整備が交通事故の減少に直結するため促進整備が必要です。

北海道では根幹となる高速道路網も未完成であり、美幌町周辺の交通ネットワークについても不十分な状況となっています。

各自治体は財政が厳しいなか、より一層地域間交流を深め広域的に産業や観光を中心に連携し、相互に発展していくことが必要になってきています。

広大な面積を有するオホーツク圏の地域連携に欠くことのできない社会基盤である道路整備については、引き続き「真に必要な道路整備」と位置づけ計画的な進捗が図られるよう要望いたします。